



平成30年度 幼稚園経営方針全体構想図 京都市立京極幼稚園

学校教育の重点

～京都市の目指す子ども像～
伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども
～「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める～

- 学校教育において重視する視点
- 学校運営の柱
- 生きる力を育む基本的な考え方

教育目標

「一人一人がその子らしさを發揮しながら
仲間の中で育ち合う
心豊かで やさしく たくましく 生きる子」

園児の実態

地域・保護者の願い

目指す教職員像

- 子どもの心の動きをとらえ、困りに気づき、遊びを支え、笑顔を引き出す教職員
- 明るく元気で、自らと周りの人の大切さを認められる教職員
- 「わたしの幼稚園」と語れる教職員

目指す子ども像

- ・自分の思いをのびのびと表現して遊ぶ子
- ・自分でできることは自分でし、自分から動き出す子
- ・自分も仲間も大切にする子

園内研究主題

“遊びを通して育まれる、
言葉による伝え合いを探る”

目指す幼稚園像

- 明るい、あたたかい幼稚園（人も施設も）
- 楽しい幼稚園（幼児期にふさわしい幼児期ならではの豊かな遊びがある）
- 地域に根ざした幼稚園（学校運営協議会をはじめとした地域の人々の支え、自然、歴史、伝統、文化、産業等を教材化、地域へ発信、地域との連携を目指す）

○日常的な子どもの姿、保育についての会話も研究の一環として意識するとともに、研修や他園の研究発表等へ積極的に参加し、教師の専門性を高める。

○園内環境の安全点検、施設の老朽化に対する計画的な対策、明るくきれいな幼稚園を目指した総合的、創造的な取組を進める。

○地域の保育所、小・中学校との子ども相互、教職員相互の交流を進め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を共有すると共に、保幼小の円滑な連携・接続を推進する役割を担う。

経営方針

○個々の子どもの発達課題、「困り」や支援の在り方について家庭とも連携して把握に努め、教職員間で共通理解を図り、組織的に取組を進める。

○カリキュラムマネジメントの視点をもって、幼児期にふさわしい遊び、幼児期にこそ経験させたい「ほんまちん」の活動、伝統・文化的活動、自然体験活動等を計画的に織り込むとともに、夢中で遊び込み、人とのかかわり合い、言葉による伝え合いが生まれる保育を目指す。

○学校運営協議会を設立し、幼稚園と地域との相互の信頼関係をさらに深め、教育力を高めるとともに、的確な評価の下で、保育の充実を図り、子どもの豊かな学びと育ちの創造を目指す。

園歌

1. おててつないで くぐるよ ごもん
うさぎとかめが あそんでる
きれいなおはなも さいている
みんなのみんなの ようちえん
2. おててつないで くぐるよ ごもん
ことりがチッチと ないでいる
ポロロン ピアノも なっている
みんなのみんなの ようちえん
3. おててつないで くぐるよ ごもん
げんきにあそぼうよ トントントン
なかよくうたおうよ ランランラン
きょうごく きょうごく ようちえん

学校評価の活用、教育活動の改善

学校運営協議会の発足と組織づくり

- ・保育に生きる評価指標としての週案の活用
- ・学校評価の結果分析と改善への活用